

普及(畜産)の業務内容

- ・普及職は、現場に一番近い県庁職員として直接農家に接し、関係機関と連携して業務を行います。
- ・畜産職では、各種畜産技術の普及指導、畜産農家の経営分析・指導を行います。



プロフィール

- ☆所属☆ 西部振興局 生産流通部 畜産班
- ☆名前☆ 小野 翔馬
- ☆経歴☆ 宮崎大学 農学部卒業
- ☆採用職種☆ 畜産職
- ☆採用☆ 2年目
- ☆大分県の魅力☆ 「海の幸も山の幸もおいしい」
- ☆仕事の魅力☆ 「食の根幹を学ぶことができる」
- ☆好きな大分県産品☆ おおいた和牛、おおいた豊後牛



主な業務内容

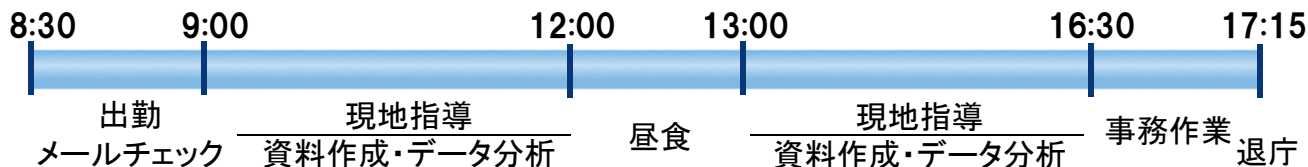
公務員と言えば「デスクワーク」のイメージが強いですが、普及職は現地、現地また現地です！私は、畜産職のため現地で牛や牛舎環境、餌の量、種類等を見て、生産者の課題を解決したり、新技術の情報提供を行ったりしています。

やりがい、魅力について

生産者の方に感謝された時は、大きなやりがいを感じます。課題の発見・解決策の検討・結果の検証は、とても大変でうまくいかないことも多いですが、生産者からの「ありがとう」の一言は宝物です。また、現場の生の声が聞けることも魅力的です。ネットや本で調べても、現場の課題は実際に行かないと分かりません。この仕事は、現場でいろんな話を聞くことができます。



1日のスケジュール



苦労した点

大学時代の知識がほとんど役に立たなかったことですかね…(笑)
 大学時代は、牛ではなく草地の研究室だったため、牛の基本的な知識すら怪しい状態でした。しかし、大分県では研修も充実しており、周りの先輩、上司の方々からも分からないことは教えて頂いています。

受験を検討している方へ

生産者の方々とうまく話せるだろうか…、人に教えるほど知識ないなあ…、といった不安を抱えていても大丈夫です！
 話すのは徐々に慣れますし、知識は現場で学ぶことの方が多いです。大分県で一緒に働きませんか？



週末は、県庁サッカー一部で体を動かしています⚽